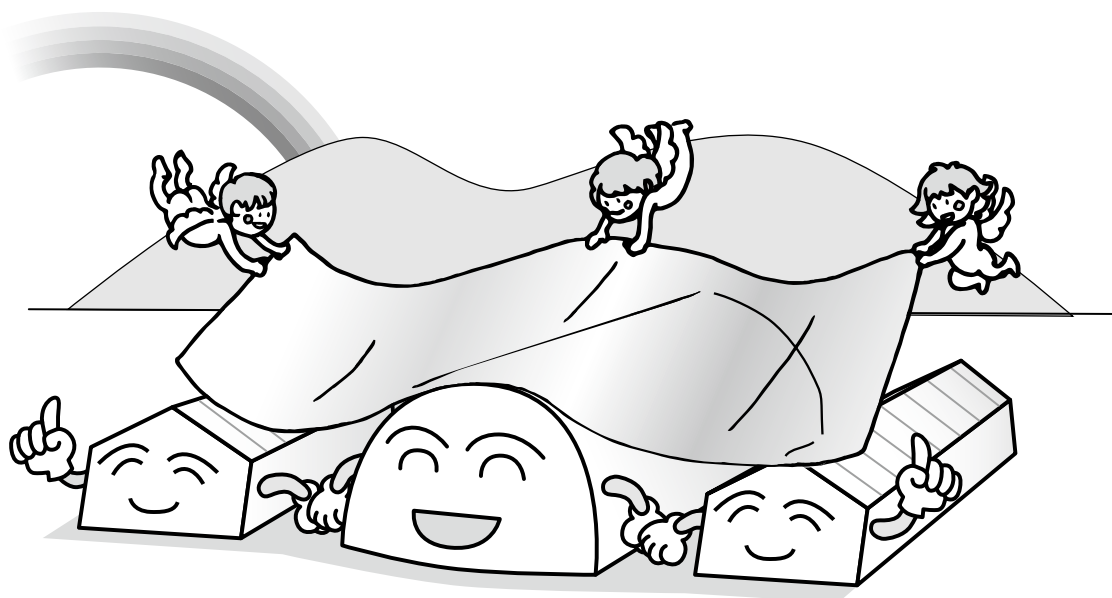


農業用POフィルム

取り扱い説明書

当社が開発した農業用POフィルムは独自配合の複層構造により、各種性能（防滴性・防霧性など）を兼ね備えた農業用POフィルムです。ご使用にあたってはその性能が十分に発揮されるようご留意下さい。



⚠ 警告： 重傷・死亡に繋がる可能性がある場合

展張作業時の転落・ケガ防止

- 展張作業は、できるだけ風の無い日に行ってください。特にハウス上で作業する際は、風によりフィルムがあらわれ、転落の原因となり、大変危険です。

⚠ 注意： 傷害・物的損害の可能性のある場合

取り扱い上の注意

- フィルム加工品は重量物です。運搬・保管等の荷扱いにはご注意ください。
- フィルムを重ねた状態で、**雨水等で水漏れする環境下や直射日光が当たる場所、高温・多湿環境下で放置すると、融着（くっつき）シワ、破れの原因となるおそれがあります。**
- 農業用廃プラスチックの不法投棄・野焼きは、法律で禁止されています。

⚠ 注意： 傷害・物的損害の可能性のある場合

他用途への使用禁止

- 当社の農業用フィルムは農業用被覆資材です。他用途には使用しないで下さい。



開梱時の扱い方

- 1 お届けの商品がご注文いただきました品種・サイズに間違いがないかご確認下さい。
- 2 フィルムに破れや傷等がないことをご確認下さい。
- 3 一部製品では防滴剤の吹き出し等によって白く見えたり、巻の色目が変わって見えることがあります。また、箱の中など暗所に保管されていたフィルムはフィルム中の配合剤により部分的に黄色く変色していることがあります。フィルムの性能には影響ありませんのでご了承下さい。展張後しばらくすれば色は抜け、元に戻ります。



展張時の扱い方

展張前に、ハウスの構造を見直し、骨材の補強を行い、サビ・突起物等をタオル等で覆ってから展張作業をすることをお勧めします。骨材に古いフィルム・くず・農薬等が残っているとフィルムの劣化原因となることがあります。

- 1 防滴塗布面が内側になるように、フィルムに印刷されたブルーの文字がハウスの外側から正しく読めるように展張して下さい。

 **スカイコート**・0.1・1A 文字の正しく読める方がハウスの外側です。  **<OUTSIDE>**
MADE IN JAPAN

(注)「白白コート5」は文字がハウスの内側から正しく読めるように展張して下さい。

 **白白コート5** ファイブ・0.15・1A こちらの面がハウスの内側です。  **<INSIDE>**
MADE IN JAPAN

- 2 フィルム展張時には、防滴塗布面（展張時ハウス内側に来る面）がパイプ等で強くこすることがないようにして下さい。優れた防滴性・防霧性が損なわれます。

展張直後には、細かい水滴が付着して曇ることがありますが、これは防滴剤の効果が現れる前の現象であり、フィルム性能の異常ではございません。また、天井部等で極端に傾斜が無いハウスでは、その部分で水滴が滞留することがありますので、水滴がながれやすいようにある程度の傾斜をつけた構造にして下さい。

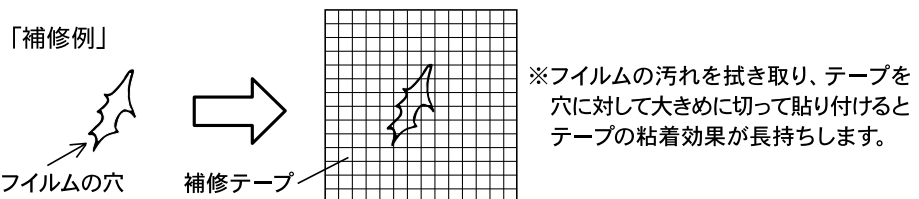
- 3 フィルム展張の際、**たるみ**（ばたつき）・**シワ**があると破損の原因となりますので注意して下さい。フィルムのたるみ・シワを抑える際には当社農PO専用押さえ材“**スカイコートバンド EX・フルフルワイド EX**”のご使用をお勧めします。（歪みをバンドで引き絞って調節することはお避け下さい。破損の原因となります。）

- 4 フィルムの固定にはスプリング式止め具（焼入れ処理された長期耐用のもの）でしっかり固定して下さい。なお、スプリング等でフィルムに傷がつくとそこから破れが生じるおそれがありますので、固定時にはご注意下さい。

- 5 フィルムは気温の変化により伸縮します。冬場に展張を行う時はできるだけたるまないように展張することで、夏場のたるみが抑えられます。逆に夏場に展張を行う時は少し緩めに展張することで冬場にフィルムが過度に張りつめることを抑えられます。
- 6 フィルムを強く伸ばすと部分的に白く曇ります（延伸白化）。延伸白化は元に戻らないので引っ張りすぎないようにご注意ください。
- 7 ハウスの骨材やフィルム止め具にアルミ製、ステンレス製のものを使用しますと、防滴性能の低下やフィルムの劣化が促進されますのでご注意ください。
- 8 農ビと農POを妻面等で密着させますと、フィルムの劣化を招きますので農ビと重ならないように展張して下さい。また農POフィルムの補修・補強等にはPO系のテープ・バンド類をお使い下さい。
- 9 フィルムを重ねた状態で雨水等で水漏れする環境下や直射日光があたる場所、高温・多湿環境下で放置すると、融着（くっつき）、シワ、破れの原因となるおそれがあります。フィルムは風通しの良い屋内のできるだけ涼しい場所で保管して下さい。また、フィルムの上に重量物を載せることはお避け下さい。
- 10 樹脂コートされたパイプやハウス部材にフィルムが融着するおそれがありますので、ご注意ください。

使用時の注意

- 1 ハウス内での硫黄くん蒸、硫黄散布、硫黄系・塩素系農薬の使用及びハウス外から硫黄系・塩素系農薬が付着する環境下での使用、または濃アンモニアなどに曝露する環境下での使用ではフィルムの劣化が促進されますので、ご使用はお避け下さい。
- 2 土壌熱消毒及び高温環境下での展張等によりフィルムの防滴性能が低下するおそれがありますのでご注意ください。
- 3 万が一、展張の際、フィルムに穴が開いてしまった場合は農PO用補修テープで早めに補修していただくことをお勧めします。（補修テープは内外両面からの貼付を推奨します。）



- 4 フィルムの巻き上げ時に水分が付着していますと、白濁（吸水白化）や融着の原因になりますので、よく乾燥させてから巻き上げて下さい。



※支店・営業所所在地・電話番号はホームページをご確認下さい。